

NEWS LETTER

三井不動産株式会社

三井不動産グループと行政が共同で地域防災を推進
「第 13 回 &EARTH 災害に負けない知識を学ぼう！～防災スタンプラリー～」
 防災に関するワークショップなどで楽しく、実践的に学ぶイベントを 2/7(土)から 9 施設にて開催

三井不動産株式会社(所在:東京都中央区)と三井不動産商業マネジメント株式会社(所在:東京都中央区)はサステナブルな社会の実現にむけて、行政や消防・NPO 等と連携し、防災啓発イベント「第 13 回 &EARTH 災害に負けない知識を学ぼう！～防災スタンプラリー～」を、首都圏 9 施設にて 2 月 7 日(土)から順次開催します。

30 年以内に首都直下型地震が発生する確率が 70%(※)と言われる中、地震や風水害などの災害時における、各自の事前の備えがますます重要になっています。本イベントでは、幅広い年代の方が多数来場する商業施設という場所を活かし、「災害への事前対策の重要性」と「災害時に対応する知識」について、クイズやワークショップ、様々な自治体プログラム等を通じて、ご家族で楽しみながら学んでいただきます。今年度は、平常時の習慣や行動が発災時にいかに役立つかをお伝えします。

(※「文部科学省地震調査研究推進本部地震調査委員会」より)

<実施概要>

- 時 間 11:00～16:00(最終受付 15:30)
- 参加費 無料(事前申込不要、会場にて随時参加受付)
- 主 催 三井不動産株式会社、三井不動産商業マネジメント株式会社
- 協 力 NPO 法人プラス・アーツ



<前回実施の様子>

●実施日・会場・協力行政など

日程	会場	協力行政など
2/7(土)	三井ショッピングパーク ららぽーと富士見 会場: 2F キッズテラス	富士見市(後援) 入間東部地区事務組合東消防署
2/8(日)	三井ショッピングパーク ラゾーナ川崎プラザ 会場: 2F ルーフ広場 ※雨天時 1F 北側出口前通路(「無印良品」横)	川崎市(後援)・川崎市消防局幸消防署
2/14(土)	三井ショッピングパーク ららぽーと横浜 会場: 2F ノースカーブモール、2F フードコート横	横浜市都筑区(後援)・横浜市都筑消防署
2/15(日)	三井ショッピングパーク ららぽーと柏の葉 会場: 本館 2F クリスタルコート	柏市(後援)・柏市西部消防署
	三井ショッピングパーク ららぽーと湘南平塚 会場: 1F 光の広場	平塚市(後援)・平塚市消防本部
2/22(日)	三井ショッピングパーク ららぽーと海老名 会場: 1F ロピア前/屋外 海老名駅前西口中心広場	海老名市(後援)・海老名市消防本部・ 海老名扇町エリアマネジメント(共催)
3/1(日)	三井ショッピングパーク ららぽーと立川立飛 会場: 1F 有隣堂前 屋外 タクシー乗り場横	立川市(後援)・東京消防庁立川消防署
	三井ショッピングパーク ららぽーと新三郷 会場: 1F 屋内広場、ららぽっとみさと、スカイガーデン、 みどりの広場前	三郷市(共催)
3/7(土)	三井ショッピングパーク ららぽーと TOKYO-BAY 会場: 西館 1F 西の広場周辺スペース 屋外 船の広場	船橋市(後援)・船橋市中央消防署

●景品協力 コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社、江崎グリコ株式会社、サントリービバレッジソリューション株式会社

<実施プログラム(共通)> ※予定

防災スタンプラリー

イベント会場内に&EARTH 防災ワークショップ(『防災実験室』～日用品のひみつ～)、わたす日本橋(防災 NURIE)、行政の防災プログラムや共催団体のプログラムが設置されています。参加者は会場内でスタンプラリーシートを受け取り、各プログラムにチャレンジします。チャレンジするともらえるスタンプを一定数集めることができれば、防災知識とともに景品を獲得することができます。

防災ワークショップ・行政の防災プログラム

『防災実験室』①キッチンペーパーで簡易マスクを作ろう

家庭で備蓄しているマスクが足りなくなった時などに、家にある身近なもので簡易マスクが作れることを学びます。



『防災実験室』②ペットボトルランタン:明るさの実験

停電時の照明として「懐中電灯」より有効なのは「ランタン型ライト」です。日頃飲んでいるペットボトルを使った簡単な簡易ランタンの作り方を伝授します。さらに、水、お茶、スポーツドリンクの中でどの飲み物が一番明るいのか、実験を通して学んでもらいます。



『防災実験室』③ラップ・アルミホイル・ポリ袋:ニオイの実験

災害後には自治体も災害対応に追われ、ゴミ回収がしばらく来ないことがあります。生ごみや処理済みトイレ、また、洗濯物などニオイの出るものを日用品を使って効果的に防臭する実験を行います。



<実施プログラム(各施設ごと)> ※予定

2/7(土) 三井ショッピングパーク ららぽーと富士見

こども防火服着体験・ダンボールベッド、簡易トイレの展示、ペット防災に関する啓発など。

地元消防によるこども防火服の着体験を実施。災害時に対する備えや対処方法、避難所、防災情報の入手方法などをまとめた富士見市防災ガイドブックを配布。地域団体によるペット防災の啓発。



2/8(日)三井ショッピングパーク ラゾーナ川崎プラザ

こども防火服着体験・心臓マッサージ体験

お子さまが防火服を着用し、消防車のバックパネルを背景に記念写真はいかがでしょう。

また、訓練用人形を使い心臓マッサージの体験も行えます。



2/14(土) 三井ショッピングパーク ららぽーと横浜

こども防火服着装体験、撮影用ちびっこ消防車(発泡スチロール製ミニサイズ)など

都筑区役所と都筑消防署が連携して、災害時の備えや火災予防の情報をわかりやすく紹介します。

小さなお子様はこども防火服を着て消防士気分を体験、ちびっこ消防車と記念撮影もできます。



2/15(日) 三井ショッピングパーク ららぽーと柏の葉

防災クイズ、備蓄品や避難所テントの展示、感震プレーカー等の展示や備蓄食料の配布

様々な場面で起こる災害にどのように対応すべきか、クイズ形式で楽しく学びます。また防災グッズの紹介、消防の協力による感震プレーカー等の展示もご覧いただけます。



2/15(日) 三井ショッピングパーク ららぽーと湘南平塚

ブックファイル作り・バンダナで応急手当・毛布で担架トライアル・心肺蘇生法・防災クイズ他

地元ボランティア団体による身近なものを使った応急手当体験を実施。また防災クイズや消防によるAEDの使い方などイザというときに役立つコンテンツが目白押し！



2/22(日) 三井ショッピングパーク ららぽーと海老名

扇町防災フェスと同時開催！多種多様な防災コンテンツを提供

起震車による地震体験、煙体験ハウスによる煙体験、炊き出し、水消火器による消火器操作体験および消防本部と地元消防団による消防車両等の展示。



3/1(土) 三井ショッピングパーク ららぽーと新三郷

水消火器による初期消火体験・AED体験(心肺蘇生法体験)

地元消防団によるAEDの体験が行われます。是非ご参加ください。屋外スカイガーデン1Fみどりの広場前では、水消火器による初期消火体験も実施予定です。



3/1(土) 三井ショッピングパーク ららぽーと立川立飛

起震車体験・防災クイズ・家具転倒防止、リチウムイオン電池の火災の展示・説明

立川市からは屋外で起震車が出勤し地震の揺れを体験できます。また、屋内では防災クイズ。立川消防署からは屋内にて、リチウムイオン電池関連火災と地震発生時の家具類の転倒・落下・移動防止対策の説明も実施予定！



3/7(土) 三井ショッピングパーク ららぽーとTOKYO-BAY

起震車体験、AED体験、ポンプ車の展示 および こども防火服着装体験

「地震体験車」による地震体験や、AEDによる心肺蘇生法を学びます。お子さまは防火服を着てポンプ車の前で記念写真はいかがでしょう。



わたす日本橋プログラム

ぼうさい NURIE

「地震が来たらどうするか」、「何を自分の防災リュックにいれるのか」を考えながら、ぬりえを通して「いのちを守る」ことを学ぶプログラムを「わたす日本橋」が実施します。「わたす日本橋」は東日本大震災の後、三井不動産が日本橋に開所した東北の情報発信・交流のための常設拠点で、防災啓もう、環境啓発にも取り組んでいます。

参加施設：3/1(日)三井ショッピングパーク ららぽーと新三郷



※イメージ

【企画協力：NPO 法人プラス・アーツ】

NPO 法人プラス・アーツは、阪神・淡路大震災を教訓として、災害時に本当に必要な知識を身に付けられるよう、お子さまでも楽しく気軽に学ぶことができる新しい防災訓練「イザ！カエルキャラバン！」を企画し、全国各地で防災知識の啓蒙に取り組んでいる団体です。

■三井不動産グループのサステナビリティについて

三井不動産グループは、「共生・共存・共創により新たな価値を創出する、そのための挑戦を続ける」という「&マーク」の理念に基づき、「社会的価値の創出」と「経済的価値の創出」を車の両輪ととらえ、社会的価値を創出することが経済的価値の創出につながり、その経済的価値によって更に大きな社会的価値の創出を実現したいと考えています。

2024 年 4 月の新グループ経営理念策定時、「GROUP MATERIALITY(重点的に取り組む課題)」として、「1. 産業競争力への貢献」、「2. 環境との共生」、「3. 健やか・活力」、「4. 安全・安心」、「5. ダイバーシティ&インクルージョン」、「6. コンプライアンス・ガバナンス」の6つを特定しました。これらのマテリアリティに本業を通じて取り組み、サステナビリティに貢献していきます。

【参考】 ・「グループ長期経営方針」 <https://www.mitsuifudosan.co.jp/corporate/innovation2030/>

・「グループマテリアリティ」 https://www.mitsuifudosan.co.jp/esg_csr/approach/materiality/

・「& EARTH for Nature」 <https://www.mitsuifudosan.co.jp/business/development/earth/for-nature/>

また、2025 年 4 月に、街づくりにおける環境との共生宣言「& EARTH for Nature」を策定し、「環境」を自然と人・地域が一体となったものと捉え、豊かな「環境」を広げ、未来の世代へつなぐ街づくりを推進しています。本宣言における重点課題として、「緑を守り育む」「水の魅力を生かす」「生態系を豊かにする」「地域の想いをつなぐ」「自然資源を循環させる」の 5 つを定めています。本リリースの取り組みは、「& EARTH for Nature」における重点課題の 1 つに貢献しています。

